



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●5月29日 燕市役所
感謝を
医療従事者に

燕市役所をブルーにライトアップ。新型コロナウイルスの感染リスクと向き合いながら最前線で社会を支える皆さんを応援するとともに感謝の意を表しました。



●4月30日～5月24日 産業史料館
勢いのある線と
繊細な色使いを楽しむ

燕市の型染め作家 渡邊久意さんの企画展。感染症対策による一時休館の影響を受けながらも、日展・県展で入賞した圧巻の作品を中心に、型染めの世界観を紹介しました。



●6月8日 吉田アーチェリー場
部活つて楽しい！

県立高校の部活動が解禁。久しぶりの、そして1年生にとっては初めての活動です。自粛でなまった身体に鞭打ちながら、和気藹々と練習をこなしました。



●5月18日 吉田ふれあい広場臨水田
「虹」を描きます
田んぼアート

田植えから1カ月半が経ち、見頃を迎えています。8月6日休まで見学台を設置していますのでご覧ください。稲の生育状況は市ホームページでお知らせしています。



●6月12日 市内飲食店
タクシーが運ぶ
おいしいランチ

外食産業でのデリバリーの需要が高まる中、市ではタクシーを活用したデリバリーサービスを応援。飲食店の出来立ての料理がタクシーで届きます。



●5月24日 国上山
新緑の国上山を
満喫しました

ソーシャルディスタンスを保ちながら、国上山エコトレッキングを実施し、11人が参加。自粛要請でなまった体を動かし、いい汗かきました。



●6月16日 朝日山展望台
梅雨の季節に
美しく咲く

国上山の中腹にある朝日山展望台の紫陽花。数は多くありませんが、しっとりと雨に濡れて美しく咲いていました。梅雨の季節ならではの花めぐりでした。



●5月29日 燕市役所
オールにいがたで
感謝の気持ちを結ぼう

新潟県主導の「にいがた結プロジェクト」。社会を支える皆さんへの感謝と応援の気持ちを伝えるため制作されたメッセージリレー動画にきららんも出演しています！

知っていれば得た気分になれる。そんな話題を集めたコーナーです。

Cooking

野菜いただきます！



燕市食生活改善推進委員
保健センター ☎ 0256-93-5461

じゃがいもとさば缶の
きんぴら



じゃがいも …2個
さば水煮缶 …1/2缶
塩こしょう …各少々
油 …大さじ1

1. じゃがいもを短冊切りにし、油を熱して炒める
2. さば缶を入れてほぐし、塩こしょうで調味する

いただきます！



吉川 実緒ちゃん

直売所は開放的な所が多く、密を避けた買い物ができる上に、新鮮かつ手頃な値段でつばめ産農産物が手に入るため、おすすめです。

毎月19日は食育の日。つばめ食育だよりを配信しています。最新号はこちら！▶▶▶▶



ごみの量(令和2年5月)

ごみの量が前年に比べ軒並み増加しています。引き続きごみの削減・分別にご協力をお願いします。

ごみの種類	令和2年5月		令和元年5月		比較増減
	収集量	1人1日	収集量	1人1日	
可燃	1,532 t	626 g	1,528 t	621 g	5 g ↑
不燃	103 t	42 g	90 t	36 g	6 g ↑
粗大	59 t	24 g	52 t	21 g	3 g ↑
資源	268 t	110 g	291 t	118 g	-8 g ↓
合計	1,962 t	802 g	1,961 t	796 g	6 g ↑

生活環境課 環境政策係 ☎ 0256-77-8167

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.28



地域おこし協力隊の新保です。

今年度の「燕三条 工場の祭典」の開催中止が決まりました。それに伴い、参加予定だったKOUBAに「Stay Safe 生きろ、KOUBA」ポスターを貼っていただき、新型コロナウイルス感染症の難局を共に乗り越えようというメッセージを発信しました。本イベントは中止となりましたが、「燕三条 工場の祭典」はこれからも新しい試みに取り組んでいきます。

プライベートでは、プロジェクトマッピングの映像をつくっていた前職の経験を活かし、映像制作をしています。四苦八苦しながらも楽しく制作しています。将来、燕市でもプロジェクトマッピングを生かしたイベントを行えたらいいなと夢見ています。



燕市地域おこし協力隊 新保 和志

●今月一品

ささげたけし 捧武「俺が船長だぞ」(写真集『田園の微笑』より)
産業史料館 ☎ 0256-63-7666
(月曜日および祝日の翌日休館)

■入館料 大人400円 高校生以下100円 ※団体割引あり

捧武さんは燕市を代表するアマチュア写真家です。この写真は、三大写真賞の1つである第2回 林忠彦賞を受賞



背景に写っているのは中ノ口川で、現在の佐渡から小牧のあたりです。佐渡橋がかかる以前にあった渡し舟に、笑顔の子ど

もたちが乗っています。真ん中の帽子をかぶっている男の子が船長でしょうか。

した写真集『田園の微笑』掲載の1枚。『田園の微笑』は、蒲原平野を舞台に昭和30年代の田園地域の風土と人々の暮らしを一大叙事詩としてまとめたものです。背景に写っているのは中ノ口川で、現在の佐渡から小牧のあたりです。佐渡橋がかかる以前にあった渡し舟に、笑顔の子ど